

公益財団法人 J F E 21 世紀財団 2026 年度 技術研究助成 若手女性研究者助成 募集要項

1. 助成対象となる研究

鉄鋼技術研究：鉄鋼材料、製造プロセス、鉄鋼副産物を対象とする基礎、応用研究。計測・制御・分析・計算科学・数値解析・DX等で鉄鋼を対象とする関連技術や生産技術の研究を含む。

地球環境・地球温暖化防止技術研究：地球環境保全と地球温暖化防止を目的とした技術開発を対象とするエンジニアリング（工学）に関する基礎、応用技術の研究。

- *【別紙】の「研究分野分類表」のいずれかの分類に該当した研究テーマを受付ける。
- *実質的に既に完了している研究や、特定の機関からの委託研究は対象外とする。
- *助成を受けた研究の当財団での成果公開は任意とする。（希望者は財団ホームページ(HP)で公開）なお、研究成果がもたらす工業所有権等の知的財産権については、本財団は関与しない。

2. 応募資格

日本の国公立大学・短期大学・高等専門学校または公的研究機関に在籍する研究者あるいは大学院（博士課程・修士課程）で学び研究する学生（いずれも国籍は問わない）であって、**35歳以下（本年度は生年月日が1990年4月1日以降）の女性。**

当財団既存（性別/年齢不問）の技術研究助成と同一年度での併願は認めない。またこれまでに既存の技術研究助成を受領した者も応募はできない。

3. 助成件数と助成金額

5件程度（100万円/件）

- *助成金は代表研究者の所属する学校・研究機関に交付（指定銀行口座に2026年7月頃に振込）
- *助成金の使途は、設備・備品費、学会・調査旅費、研究補助者謝金、参考書籍・文書購入費等で、研究室運営費、学会等開催費、論文印刷・書籍刊行費などは不可とする。

4. 研究期間

原則2027年3月末日まで。終了期日までに研究報告書を提出する。

5. 申請の手続き

本財団HPの申請様式に（原則として日本語で）研究概要等を記入し、上司/指導者の推薦コメントを付記したうえで、HPの申請画面から送信する。

財団HP：<https://www.jfe-21st-cf.or.jp/> 受付開始：4月13日(月) 締切：6月1日(月)

6. 審査・選考と助成研究(者)の公表

本財団委嘱の技術審査委員による審査・選考を経て、財団理事長が決定し、7月に応募者に結果を通知の後、財団HP等で公表する。

7. 受領決定後の約束事

- (ア) 助成受領者は、本財団と「技術研究助成覚書」を締結
- (イ) 助成受領者は、本財団所定の寄付申請書の作成を大学・研究機関事務部に依頼
- (ウ) 研究終了後、研究報告書(公開任意)と会計報告書を提出

以上

公益財団法人 J F E 21 世紀財団 2026 年度 技術研究助成 募集要項

1. 助成対象となる研究

鉄鋼技術研究：鉄鋼材料、製造プロセス、鉄鋼副産物を対象とする基礎、応用研究。計測・制御・分析・計算科学・数値解析・D X 等で鉄鋼を対象とする関連技術や生産技術の研究を含む。

地球環境・地球温暖化防止技術研究：地球環境保全と地球温暖化防止を目的とした技術開発を対象とするエンジニアリング(工学)に関係する基礎、応用技術の研究。

*【別紙】の「研究分野分類表」のいずれかの分類に該当した研究テーマを受付ける。

*実質的に既に完了している研究や、特定の機関からの委託研究は対象外とする。

*助成を受けた研究は成果も含めて公開を前提とする。(本財団にて助成研究報告書を発行し、財団ホームページ(HP)で公開)なお、研究成果がもたらす工業所有権等の知的財産権については、本財団は関与しない。

2. 応募資格

日本の国公立大学・短期大学・高等専門学校または公的研究機関に在籍(常勤)する研究者であって国籍は問わない。なおグループでの研究の場合、代表研究者以外の共同研究者は3名以内で、大学院生および外国の大学、日本の他の大学や公的研究機関に在籍する研究者も可とする。2023~2025 年度の本研究助成を代表研究者として受領した者は、今回は代表研究者としての応募はできない。※[新設]の若手女性研究者向け助成との同年での併願はできない。

3. 助成件数と助成金額

25 件(原則) 200 万円/件

*助成金は代表研究者の所属する大学・研究機関に交付(指定銀行口座に2026年12月に振込)

*助成金の使途は、設備・備品費、学会・調査旅費、研究補助者謝金、参考書籍・文書購入費等で、研究室運営費、学会等開催費、論文印刷・書籍刊行費などは不可とする。

4. 研究期間

原則1年間(2027年1月研究開始・同年12月終了・2028年1月報告書提出)

但し、1年間を上限として延長を可とする。(その場合2029年1月報告書提出)

5. 申請の手続き

本財団HPの申請様式に(原則として日本語で)記入し、HPの申請画面から送信する。

財団HP：<https://www.jfe-21st-cf.or.jp/> 受付開始：4月13日(月) 締切：6月22日(月)

6. 審査・選考と助成研究(者)の公表

本財団委嘱の審査委員会による審査・選考を経て、財団理事長が決定し、9月末頃に応募者に結果を通知の後、財団HP等で公表する。

7. 受領決定後の約束事

(1) 助成受領者は、本財団と「技術研究助成覚書」を締結

(2) 助成受領者は、本財団所定の寄付申請書の作成を大学・研究機関事務部に依頼

(3) 研究終了後、研究成果報告書(公開前提)と会計報告書を提出

(4) 研究論文等において本財団から助成があった旨を記載すること

(5) 贈呈式への任意出席(代表研究者のみ)〈東京で12月3日(木)開催予定、出席費用は財団負担〉

以上

【別紙】

技術研究助成の対象とする「研究分野分類表」

* ホームページ応募申込画面の「研究分類」欄には、下記の研究分類コードより最も近いもの1つを選択し、入力する。

* 応募申請書の「研究分類(主)」欄には上記と同じコードを入力する。

(複数の研究分類コードに該当する場合のみ、2番目に近いものを「研究分類(従)」にも入れる)

(区分)	(大分類)	研究分類コード	(小分類)
鉄鋼	鉄鋼製造プロセス	鉄プー1	製鉄分野の製造プロセス・生産技術・DX技術
		鉄プー2	製鋼分野の製造プロセス・生産技術・DX技術
		鉄プー3	鉄鋼副産物の処理プロセス・処理技術、再資源化、再利用
		鉄プー4	塑性加工、圧延分野の製造プロセス・生産技術・DX技術
	鉄鋼材料	鉄材ー1	組織(相、粒界、析出、拡散)
		鉄材ー2	材料設計(複合・焼結材料・ナノ)、合金
		鉄材ー3	強度、疲労・破壊、材料評価
		鉄材ー4	腐食・防食、電気化学、表面処理、コーティング
	鉄鋼関連技術	鉄関ー1	計測・制御技術、計算科学、数値解析、DX技術
		鉄関ー2	分析技術、評価・試験、検査
		鉄関ー3	溶接・接合、潤滑・トライボロジ
		鉄関ー4	鋼構造(設計、試験、工法)、構造解析、土木・建築
地球環境・地球温暖化防止	地球環境保全	環境ー1	水資源、飲料水、河川湖沼・海浜、水処理
		環境ー2	廃棄物処理、再資源化、リサイクル、金属回収
		環境ー3	土壌浄化、環境汚染物質(大気)回収、土壌・大気等無害化の分析・計測、放射性廃棄物処理
	地球温暖化防止	温暖ー1	CO ₂ 等温室効果ガス回収・固定、ヒートアイランド
		温暖ー2	省エネ、排熱利用、燃焼(燃料)、熱機関、空調、ヒートポンプ
		温暖ー3	燃料電池、蓄電池、水素製造
		温暖ー4	再生可能エネルギー(太陽光、風力、地熱、バイオマス)、スマートグリッド、エネルギーフロー

公益財団法人 JFE21 世紀財団 2026 年度 アジア歴史研究助成 募集要項

1. 助成対象となる研究

「21 世紀アジアと共存共栄するための、日本の産業と文化の Vision 構築に資するアジア歴史研究」

アジアの各地域はいずれもきわめて複雑な歴史をたどってきた。その結果として今日の政治、経済、社会、文化状況がある。本研究助成は、歴史的経緯を踏まえながら現況を直視し、未来を考える研究を対象とする。また、アジア各地域と日本の関係についての歴史と記憶の研究も含む。なお、研究対象地域は下記の範囲とする。

北・東アジア(日本、朝鮮半島、中国、モンゴル、ロシアの一部)、東南アジア、南アジア～西アジア(中東)、中央アジア～カフカス地域

* 実質的に既に完了している研究や、特定機関からの委託研究は対象外とする。

* 上記条件に該当しない応募は、事務局判断で審査委員会に上申しない場合もある。

* 助成研究は公開を前提とする。本財団にて助成研究報告書を発行し、本財団ホームページ(HP)で公開する。

2. 助成件数と助成金額

10 件 (原則)、1 件あたり 150 万円

* 助成金は代表研究者の所属する大学・研究機関に交付(指定銀行口座に 2026 年 12 月に振込)

* 助成金の使途は、参考書籍・文書購入費、設備・備品費、学会・調査旅費、研究補助者謝金等、研究室運営費、学会等開催費、論文印刷・書籍刊行費などは不可とする。

3. 研究期間 原則 1 年間 (2027 年 1 月研究開始、同年 12 月終了、2028 年 1 月報告書提出)

但し、1 年間に上限として延長を可とする。(その場合 2029 年 1 月報告書提出)

4. 応募資格

日本の国公立大学・短期大学・高等専門学校または公的研究機関に在籍(常勤)する研究者であって国籍は問わない。なおグループでの研究の場合、代表研究者以外の共同研究者は 3 名以内で、大学院生および外国の大学、日本の他の大学や公的研究機関に在籍する研究者も可とする。2023～2025 年度の本研究助成を代表研究者として受領した者は、今回は代表研究者としての応募はできない。

5. 申請の手続き

本財団 HP の申請様式に(原則として日本語で)記入し、HP の申請画面から財団に送信する。

財団 HP <https://www.jfe-21st-cf.or.jp/> 受付開始 4 月 13 日(月) : 締切 6 月 22 日(月)

* 記入と送信の要領は申請画面に掲載、電子申請につき郵送は不可とする。

6. 審査・選考と助成研究(者)の公表

本財団委嘱の審査委員会による審査・選考を経て本財団理事長が決定し、9 月末に応募者に結果を通知の後、本財団 HP 等で公表する。

審査委員長 菊池 秀明 (国際基督教大学教養学部 教授)

審査委員 小松 久男 (東京大学 名誉教授)

保坂 俊司 (中央大学国際情報学部 教授)

三尾 裕子 (慶応義塾大学 名誉教授)

7. 助成受領研究者の義務と条件等

(1) 助成受領者は、本財団と「アジア歴史研究助成覚書」を締結

(2) 助成金の受領手続き(本財団所定の寄付申請書により大学・研究機関事務部に手続きを依頼)

(3) 研究終了後、研究成果報告書(公開前提)と会計報告書を提出

(4) 研究論文等において本財団から助成があった旨を記載すること

(5) 贈呈式への任意出席(代表研究者のみ)〈東京で 12 月 3 日(木)開催予定、出席費用は財団負担

以上

公益財団法人 J F E 2 1 世紀財団の概要

- ・ 名称：公益財団法人 J F E 2 1 世紀財団
- ・ 沿革： 1990 年 12 月 設立（旧川崎製鉄㈱が、創立 40 周年を記念して設立）
2003 年 4 月 現名称に改称
2012 年 4 月 公益財団法人へ移行
- ・ 総資産：27 億 5,480 万円（2026 年 3 月末）
- ・ 公益目的事業（2026 年度公益会計事業費予算：1 億 2,580 万円）
 1. 大学研究助成等事業：ア 技術研究助成（公募）
イ アジア歴史研究助成（公募）
ウ 大学教材・鉄鋼関連出版物の作成・寄贈
 2. 文化振興事業：ア 鉄鋼に縁のある地域への貢献
イ 海外子女文芸作品コンクールへの協賛と文集の寄贈
- ・ 役員および評議員 (2026 年 3 月現在)

理事長	北野嘉久	J F E ホールディングス㈱ 代表取締役社長
専務理事	寺畑雅史	J F E ホールディングス㈱ 代表取締役副社長
理 事	小橋 眞	名古屋大学 教授
	鈴木善久	伊藤忠商事㈱ 理事
	筒井義信	日本生命保険(相) 特別顧問
	平田好則	大阪大学 名誉教授
	古原 忠	東北大学 教授
	前田正史	京都先端科学大学 学長
	吉田政雄	古河電気工業㈱ 名誉顧問
監 事	田中利弘	J F E ホールディングス㈱ 専務執行役員
	谷上和範	公認会計士
評議員	安住和久	北海道大学 名誉教授
	梅村 坦	中央大学 名誉教授
	柿木厚司	J F E ホールディングス㈱ 特別顧問
	須佐匡裕	東京科学大学 特命教授
	中島邦彦	九州大学 名誉教授
	広瀬政之	J F E スチール㈱ 代表取締役社長
	明珍幸一	川崎汽船㈱ 取締役会長

以上